



# ご協力ありがとうございました！

— クリーンアップ運動 —



## — 花いっぱい運動 —



# 長崎がんばらんば国体への ご協力ありがとうございました

第69回国民体育大会松浦市実行委員会会長

松浦市長 友広 郁洋



心からたたえ、そして、たくさんの感動をいただきましたこと、あらためて感謝を申し上げます。

私は、このなぎなた競技が、まさに国民体育大会の競技種目にふさわしい競技であることを実感いたしました。

ここ松浦が「なぎなたのまち」として名をはせることができるよう、これからもなぎなたの普及と競技人口の拡大に取り組んでまいりますので、皆さまのご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

また、長崎がんばらんば国体なぎなた競技会の開催にご支援ご協力をいただきました役員係員の皆さま、そして、おもてなしの心を持ってオール松浦で国体を支えてくださった市民の皆さまに対し、心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

長崎がんばらんば国体なぎなた競技会が最高の盛り上がりを見せ、開催できましたことに心から感謝申し上げます。

選手の皆さんは郷土の代表として力と技をいかなく発揮され、手に汗握る熱戦の連続、競技役員、係員のスムーズな大会運営、さらに会場溢れんばかりの観戦と応援の皆さんの温かな声援で会場は常に沸き上がりました。

長崎県選手の演技競技の優勝を祝福するとともに全選手の健闘を



## 「なぎなたのまち」

### 松浦市の新たなスタート

松浦市では、なぎなたの普及活動として市内の保育所や幼稚園、小・中学校で、子どもたちになぎなたに触れて興味を持ってもらおうと「なぎなた体験」を行っています。そこで子どもたちはリズムなぎなたの練習をして、学校や園の行事、地区のイベントなどで演舞を披露しています。

リズムなぎなたから「構え・振り・打突」など、なぎなたの基本的な動作やなぎなたの形を習得し、さらに興味を持った子どもたちが、なぎなた競技を始められるような環境づくりに取り組んでいます。

また、公民館の高齢者学級でもなぎなた教室を開催し、なぎなたを知ってもらうことから始め、地域ぐるみでなぎなた競技を支える環境づくり



にも取り組んでいます。

松浦市にとって、国体を終えた今こそ新しいスタートです。一人でも多くの人になぎなたを知ってもらおうこと、これまで培ってきた競技力を衰退させないこと、さらに競技力を向上させて競技人口を増やすことなど、これからの課題が多くあります。

2003年の長崎ゆめ総体、2014年の長崎がんばらんば国体を経て、なぎなた競技は松浦市において着実に根付いてきています。

継続は力なり。今後も地道に普及活動を続け、これから初めてなぎなたに触れる子どもたちが、将来「なぎなたのまち」松浦で活躍できるように、育て支える環境づくりに取り組んでいきます。

#### ●問合先 生涯学習課国体推進室

☎内線311

